



横浜市立六浦小学校 学校だより
令和3年8月27日(金)発行

お子さんと一緒に
読んでください◎

令和3年8月27日
横浜市立六浦小学校
校長 尾上 伸一
養護教諭 馬場裕里子

ほけんだより

つながるなかま まち いきいき 六浦っ子

8・9月

むつみあう心で人に接し
小鳥のように仲のよい子
夏の学校生活の様子です



安心して学ぶことのできる環境づくり

校長 尾上 伸一

オリンピック・パラリンピックの開催、8月上旬の猛暑、中旬の豪雨、そして感染症の猛威と日本中が共通の課題に立ち向かったような今年の夏休みでした。それでも学校や町で見かけるむつらっ子みんなはいつも元気な姿で、それぞれがこの夏の体験を自らの成長につなげて一回りたくましくなっている様子でした。夏休み明けは8月が臨時休校、9月当初は緊急事態宣言下での分散・短縮授業となってしまいます。みんなが楽しみにしている運動会をはじめとする学校行事、教育活動の実施についても今後の社会の感染拡大・収束の状況や学校での対応の効果を見極めていく必要があります。夏休み明けの現時点ではまだまだ不透明な状態です。それでもできる限りの感染対策を取ることや偏見や差別を生まないことに配慮して、一人ひとりに寄り添う支援を続けていき、子どもたちが安心して楽しく学ぶことのできる環境づくりに力を入れていきます。ご家庭との連携を一層強め、個人持ちとなる「自分のiPad」や「ロイロノート・スクールのアプリ」を積極的に活用するギガスクールとしての対応力も学校に身に付けたいと考えています。

「家庭と学校で行う感染対策」の具体的な取り組み方については、保健室より発行している「ほけんだより」にまとめています。また刻々と変化する状況への対応については、その都度「各種お便り」「メール配信」「学校ホームページ」等でご家庭にお伝えしていきます。保護者、地域の皆さんとの連携を大切に、この時期を乗り越えていきたいと思ひます。ご理解とご協力をお願いいたします。

夏休みが少し延長になりましたが、いよいよ9月1日から学校が始まります。昨年から私たちが気を付けている新型コロナウイルスですが、今までで一番感染している人が多く、私たちもいつ感染してもおかしくない状況です。そんな状況の中で学校生活が始まるので、みなさんには今までよりも『コロナ対策』を意識して、学校生活を送ってもらうことになりそうです。やりにくいこともあると思いますが、みんなでこの時期を乗り越えていきたいと思ひます。六浦小学校の先生方みんなが夏休み明けにみなさんにお会いできることを楽しみにしていました。それでも無理はしないで、心配なことがあったら学校に連絡ください。



みんなができる感染対策

- ・ こまめな石けんでの手洗い
- ・ ハンカチを持つ
- ・ マスクをつける
- ・ マスクをはずしたら話さない
- ・ 友だちとくっつかない
- ・ 朝の検温と健康観察

六浦小学校で行う感染対策

- ・ 石けんでのこまめな手洗い
- ・ マスクの着用
- ・ 教室の換気
- ・ 分散登校(昇降口の密を減らすため)
- ・ 朝の健康観察
- ・ 多くの人の手が触れる箇所の消毒
- ・ 感染リスクの高い活動の一時停止

保護者のみなさまへ

新型コロナウイルスの感染者が増加の一途をたどる中で始まる学校生活、ご心配なことと思ひます。学校でもできる限りの感染対策を行って、日々の学校生活を進めてまいりたいと思ひます。学校生活は子どもたちが集まった中での生活ですので、保護者のみなさまにも以下の点をご留意していただきたいと思ひます。

- ・ 少しでも風邪症状が見られる場合には登校を控え、医療機関を受診してください
- ・ ご家族や同居人の方に風邪症状が見られたり、新型コロナウイルスに感染の疑いがあり、PCR検査等を受ける必要が生じた場合、検査結果が判明するまでの間は児童の登校をお控えください。また、学校への連絡をお願いします。

保護者のみなさまにはご不便をおかけすることもあるかと思ひますが、ご理解・ご協力のほどよろしくお願ひいたします。